

Ⅱ 苦情の現状

Ⅱ 苦情の現状

1. 苦情件数とその推移

令和4年度に受け付けた苦情は56件であった。

2. 種類別苦情件数

典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)に関する苦情件数を種類別にみると、大気汚染 8件(14.3%)、水質汚濁 3件(5.4%)、騒音 20件(35.7%)、振動 3件(5.4%)、悪臭 18件(32.1%)、その他 4件(7.1%)となっている(土壌汚染、地盤沈下は0件)。

公害ごとの苦情処理件数の推移をみると、騒音に関する苦情が最も多く、これらは、工場等からの機械騒音や作業騒音、建設工事に伴う建設作業騒音等である。

悪臭に関する苦情が続いて多くなっており、その内訳は、野焼きの煙の臭いや生活排水の臭い等である。

その他、水質汚濁の苦情では河川の白濁など、大気汚染の苦情では工事による粉塵の飛散等が見られた。

